

6月
26日

中田博之さんがツーリズム功労者表彰を受賞



(左から) 三河市長、中田さん

大分県内における観光事業の振興と地域の活性化を図ることを目的に設立された「社団法人ツーリズムおおいた」の平成24年度ツーリズム功労者表彰を受賞した中田博之さん（国東市商工会長）が、6月26日（火）、市役所を訪れ三河明史市長に受賞を報告しました。

中田さんは、旧国見町観光協会会長、国東市観光協会初代会長等を歴任し、約28年にわたり観光客誘致に尽力したことが高く評価され、今回の受賞となりました。

7月
4日

ペトロカスイ岐部を聖人にする集い

7月4日（水）、国見生涯学習センターみんなの館で「ペトロカスイ岐部を聖人にする集い」が開催され、地元関係者など約150人が参加しました。これは、国見町の歴史と文化を高める会（土谷繁文会長）が、神父の殉教の日に合わせて郷土の偉人を顕彰しようと開催したものです。

集いでは、NPO法人おおいた豊後ルネサンスの日野直子理事長が講演を行い「世界に誇れる偉人であり、自信を持って活動してほしい」と話しました。続いて国見ふれあいコーラスが歌声を披露。国見中学校3年生の丸小野翔さんが「神父を誇りに思い、聖人に列せられるよう顕彰活動を続けていきたい」とメッセージを発表しました。



国見ふれあいコーラスの皆さん

7月
9日

ワープロ競技で全国大会へ



(左から) 阿部先生、広崎先生、小笹さん、三河市長

6月に行われた県高等学校ワープロ競技会で、国東高校双国校3年生の小笹真実さんが、個人の部の2位に入賞し、九州大会と全国大会への出場を決めました。競技は10分間に打ち込む文字の多さと正確さを競うもので、ワープロ・パソコン部創部15年目で初の全国大会出場となりました。

7月9日（月）、小笹さんは阿部格治朗副校長と顧問の広崎史香教諭と市役所を訪れ、三河明史市長へ8月に行われる全国大会への出場報告を行いました。小笹さんは「初の全国大会で、地域も応援してくれています。県の代表として頑張ってきます」と力強く決意を述べました。

7月
3日

シルバー人材センターが優良団体全国表彰を受賞

7月3日（火）、公益社団法人国東市シルバー人材センターの小野文昭理事長、綾部静男副理事長、瀬田和夫事務局長が市役所を訪れ、全国シルバー人材センター事業協会から優良団体表彰を受賞したことを三河明史市長に報告しました。

国東市シルバー人材センターは、市内60歳以上の人口に対する入会率、会員の就業率が高く、独自事業やボランティア事業などに積極的に取り組んでいることが評価され、今回の受賞となりました。



(左から) 綾部副理事長、三河市長、小野理事長

6月
8・9日

「笑顔の種」を届けました



松本会長（左端）西田社長（左から2人目）、福島ひまわり里親プロジェクトの番匠啓太さん（右から2人目）

「ひまわりで笑顔の種いっぱいプロジェクト」に取り組んできた国東市ボランティア連絡協議会（松本保会長）、くにさきエコシステム㈱（西田正孝社長）が6月8日（金）に福島県を訪れ、500kgの種を福島ひまわり里親プロジェクトへ贈りました。また、9日（土）には、同県南相馬市教育委員会へ、種の販売で得た益金20万円を贈りました。

この取り組みは、東日本大震災による原発事故で土壌汚染被害を受けた地域にひまわりの種を送ろうというもので、多くの市民が賛同して、市内各地から約1トンの種が集まりました。

西田社長は「たくさんの方が一生懸命育ててくれた種を、無事に被災地に届けることができました。多くの花を咲かせて、被災地の方々に元気になってほしい」と話していました。